

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実	施策主管課	下水道課	課長名	伊藤 徳明
------	------	-----	---------	-------	------	-----	-------

政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています						
---------	------------------------	--	--	--	--	--	--

施策No	06	施策名	汚水の適切な処理	関係課名	生活環境課		
------	----	-----	----------	------	-------	--	--

施策の目指す姿	下水利用環境が整っています						
---------	---------------	--	--	--	--	--	--

現状と課題

【現状】

- ・公共下水道の整備は令和2年度でおおむね完了し、汚水処理人口普及率は、平成30年度末で90.2%となっています。
- ・汚水処理施設を利用できる状態にある市民のうち、実際に接続して利用している市民の割合を示す水洗化率は、平成30年度末で79.9%となっています。
- ・公共下水道の大迫・東和浄化センターや農業集落排水の処理場の老朽化が進んでいます。

【課題】

- ・公共下水道や農業集落排水の処理場の機械・電気設備の老朽化が進んでおり、計画的な改築更新による長寿命化対策が必要です。
- ・経済的な理由により水洗化が進んでいない世帯もあり、支援制度の周知が必要です。
- ・下水道整備区域外の浄化槽の整備が進んでおらず、補助制度の周知が必要です。

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

- ・水洗化促進のため、支援制度について広報・ホームページ掲載や戸別訪問などにより周知させる。
- ・維持管理費の削減のため、個別に維持管理契約していた各処理場と管渠を集約し、一括維持管理契約かつ複数年契約を進める。
- ・汚水処理施設の効率的で効果的な管理運営を図るため、老朽化施設の長寿命化対策工事を調査計画の策定を進める。
- ・浄化槽事業の整備促進のため、補助制度について広報・ホームページ掲載などにより周知させる。

反映状況

- ・水洗化促進は、予定していた戸別訪問がコロナ禍のため実施できなかったものの、各種水洗化補助金の内容をお知らせするチラシを作成し班回覧にしたほか、FMはなまきの放送を通じて9月10日の「下水道の日」をPRした。
- ・維持管理費の削減のため、従来は単年度個別契約で実施していた浄化センターの維持管理業務を、一括しての複数年契約に切り替えた。
- ・汚水処理施設の効率的で効果的な管理運営を図るため、終末処理施設の長寿命化対策工事を実施するとともに、次年度対象地区の調査計画を策定した。
- ・浄化槽事業の整備促進のため、市が設置した戸別浄化槽の譲与に関する案内文書を対象者に送付したほか、維持管理補助金の内容を浄化槽保守点検業者へお知らせした。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- (1) 汚水処理施設の整備と機能維持
- ・公共下水道について、大迫・東和浄化センターの機械、電気設備の改築更新の実施
 - ・大迫浄化センター設備更新、東和浄化センター設備更新
 - ・農業集落排水について、公共下水道に接続することの検討、それ以外について処理場の機械、電気設備の改築更新の実施
 - ・西南地区設備更新、イーハトープ長根地区設備更新、三日堀地区設備更新
 - ・浄化槽の維持管理
 - ・市設置型1,362基の維持管理
- (2) 水洗化の推進
- ・公共下水道や農業集落排水の未接続者への支援制度の周知
 - ・各種水洗化補助金のチラシを班回覧、FMはなまきの放送によるPR
 - ・水洗化に係る補助金の支援
 - ・融資あっせん和利子補給、私設污水管設置費補助金、排水設備設置促進補助金
 - ・浄化槽の設置に係る補助制度のPR

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
汚水処理人口普及率	汚水処理施設の整備状況として市民に最もわかりやすい指標であるため	普及率 = 整備区域内人口 / 市全人口	%	目標値	90.10	90.80	91.50	92.20	92.60	93.10
				実績値	89.80	90.20	90.50	90.70		
水洗化率	市内全域で実際に汚水処理施設を利用している割合を表し、市民に水洗化の現状を示すため	水洗化率 = 汚水処理施設を利用している人口 / 市全人口	%	目標値	79.50	80.90	82.30	83.80	84.70	85.40
				実績値	79.10	79.90	80.60	81.20		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「汚水処理人口普及率」・・・【達成度 b】 前年度より0.2ポイント増加したものの、目標値(92.2)を1.5ポイントも下回っている。公共下水道や農業集落排水による集合処理区域の整備は概成し、それ以外の区域は浄化槽による整備区域となるが、高齢者のみの世帯や経済的な理由により浄化槽の普及が進まないことが要因と考えられ、ここ10年ほどの推移をみるとH28頃を境に伸び率が鈍化している。</p> <p>成果指標「水洗化率」・・・【達成度 b】 前年度より0.6ポイント増加したものの、目標値(83.8)を2.6ポイントも下回っている。汚水処理人口普及率と同様に、高齢者のみの世帯や経済的な理由により水洗化の普及が進まないことが要因と考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・(浄化槽事業)集合処理区域以外の市域における水洗化の手法は、個人設置型の浄化槽整備となるので、各種支援制度を周知していくとともに、既存の補助制度を検証し、より効果的に事業を進める必要がある。 ・(し尿処理事業)下水道等の普及が汲取り量の減少に直結することから、水洗化率を向上させる必要がある。 ・(公共下水道事業及び農業集落排水事業)長寿命化対策や機能強化対策は、更新時期や工法の見直しにより効率的に進める必要がある。
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道や農業集落排水の未接続者はもとより、このような集合処理区域以外の方にも水洗トイレを普及させるため、個人設置型の浄化槽整備にかかる補助制度をはじめ各種支援制度を周知しながら水洗化を促進する一方、既存制度を検証して鈍化している水洗化率の向上に努める必要がある。 ・年々老朽化する施設については、効率的に長寿命化を図り、汚水処理施設の適切な機能維持に努める必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・水洗化率の向上を図るため、各種支援制度を地道に周知していくとともに、関係団体や汲取り世帯等への聞き取り調査を行い、より効果的な支援制度を検討する。 ・適切な機能維持を図るため、各種施設の長寿命化対策の実施や次年度以降の効率的な計画を策定する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図	
020	し尿処理事業費 し尿汲取り業務 (汲取り量 18,183kl)	生活環境	間接・ 少数	直結	-
	B				
040	公共下水道事業費 公共下水道の長寿命化対策の推進 (管渠埋設 3km、長寿命化対策工事 2件、公共汚水桝設置 50件)	下水道	間接・ 少数	直結	B
	B				
050	農業集落排水事業費 農業集落排水の長寿命化対策の推進 (調査計画実施地区 5地区、機能強化工事 3地区、公共汚水桝設置 10件)	下水道	間接・ 少数	直結	B
	B				
060	戸別浄化槽事業費 市設置の戸別浄化槽に対する利子補給補助 (水洗便所等改造資金の利子補給件数 8件)	下水道	間接・ 少数	直結	-
	B				
070	浄化槽事業費 浄化槽の整備促進 (浄化槽設置整備補助 58基、私設汚水管設置補助 9件、排水設備設置促進補助 28件、維持管理補助 118件)	下水道	間接・ 少数	直結	B
	B				